

## 事業目的

- 患者満足度向上に寄与するデジタルツールを用いて最適化するロールモデルを創出し、都内医療機関における患者満足度向上の取組支援策につなげ、患者の手取り時間を増やす。

## 事業概要

- 受診前から受診後まで一連のデジタルツールを都立病院で先行して導入し、導入前後の効果を検証
- 検証結果の分析を踏まえ、デジタルツールや導入手順などのガイドラインを作成。都内医療機関への展開を促進し、患者の待ち時間の短縮による手取り時間の増加など、患者満足度を向上

効果検証の結果を都内医療機関へ展開することを見据え、都の医療政策に率先して取り組む役割を担う地方独立行政法人東京都立病院機構にて、効果検証を行う。

## 実証場所（案）

地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院

## 【選定理由】

・本事業では、**電子カルテと連携した機能を含む多くのデジタルツール導入前後の効果を実証実験することから、事業期間と電子カルテの更新業務等が重複しないことや、今後、本格的なDX環境の整備に着手予定であること、また、多種多様で多くの業務を取り扱う医療機関を選定する必要がある。**

・都立豊島病院は、令和4年に直近の電子カルテ更新を完了している。また、400床以上の病床と多くの診療科を有し、多種多様な業務フローを日常的に管理する総合病院であり、今後デジタルツールの導入によるDX化を進めていく予定であることから、本事業の効果検証の円滑な実施が期待できる都立病院機構が運営する唯一の病院であるため。

# 患者向けDX環境整備の実施について

## 効果検証予定のデジタルツール（案）

○ 医療DXに関するインターネットモニター調査の結果（令和7年第2回医療DX推進協議会【資料4】参照）等を踏まえ、都立豊島病院で導入するツールとして以下を想定

患者動線	受診前			外来受診		会計	薬の受け取り	PHR・情報共有
区分	予約システム	リマインド通知	事前問診機能	紹介状取込	診察待順案内	後払い会計	処方箋送信サービス	医療情報閲覧
課題	電話の待ち時間など予約の手間と時間制限	受診忘れ、遅刻 電話での確認業務	症状がうまく伝えられない 問診表の記入が面倒・時間がかかる	複数回の共有に手間がかかる紙による紹介状の共有	待ち時間の不透明性 診察室付近の密集 患者の不安・ストレス	会計窓口での混雑 精算機の待ち行列 会計処理の集中 未収金リスク	調剤の待ち時間 重複投薬や飲み合わせのチェック漏れ	検査結果の紛失 健康状態の把握困難 継続的な健康管理の困難
効果	電話待ちの解消 診療時間外の予約 予約スケジュール管理の負担軽減	受診忘れの防止 電話確認業務の削減 no-show率の低下	診察前の情報把握により医師等がスムーズに対応可能 問診時間の短縮により診察時間の最適化 受付業務の負担軽減	紙の搬送が不要となり、情報の紛失リスクが軽減 内容が電子化されることで診察時の入力時間の短縮	待ち状況の見える化 院内混雑の緩和 患者ストレスの軽減 診察室付近の分散効果	会計待ち時間の解消 精算機導入数の削減 業務ピーク時間の平準化 未収金リスクの軽減	調剤待ち時間の解消 服薬の安全性向上	健康意識の向上 継続的な健康管理 検査結果の長期保存 医療の見える化